

JAえんゆう広報誌

ひざし

2024 1

No. 299

謹賀新年

ひざし

2024.1月号 No. 299

◆今月の主な記事◆

- ◎新年のご挨拶
えんゆう農業協同組合
代表理事組合長 関口 哲治…2
- 網走農業改良普及センター遠軽支所
支所長 花岡 伸光…4
- 北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功…5
- J A えんゆう 青年部
部長 姉崎 正弥
- J A えんゆう 女性部
部長 北村 広子…6
- ◎一日皆貯金 当選者発表……………7
- ◎女性部フレッシュミズ合同研修会
- ◎令和6年度学生2次募集……………8
- ◎遠軽厚生病院からのお知らせ…………9
- ◎冬のあったかミルク鍋……………10
- ◎令和6年度
営農計画作成支援日程……………12

理事会のあらまし
まちがい探し&当選者発表
読者の声は
お休みいたします。

組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合 代表理事組合長 関口 哲治



謹賀新年

令和6年 元旦

えんゆう農業協同組合

組合員の皆様、並びにJA役職員の皆様におかれましては、ご家族と共につがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が五類へ移行され、行動制限が解除された令和五年イベントの開催や国内観光・インバウンドの回復はありましたが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、令和四年に引き続き、国際紛争や急激な円安による生産資材価格の高止まりが、農業経営を圧迫した年となりました。

国内の天候は長期間の猛暑となり、観

測史上最高気温・連続真夏日日数・猛暑日地点数等が記録更新となり、「災害級の猛暑」と報道されました。道内の天候につきましても、連続真夏日が七月下旬から四十四日間と記録更新する猛暑が続き、本州と同じような暑さとなり、雨については発雷確率が高く、短時間大雨警報が発出されるなど、オホーツク管内でも洪水災害に見舞われた地域があり、農業への被害も発生しました。

当地域の天候を振り返りますと、三月はプラス気温が続ぎ下旬には積雪ゼロとなり、四月上旬も気温は高く早目に春作

業が始まると予想されましたが、中旬に積雪があり二十日過ぎからの玉葱移植となりました。五月はほぼ降雨がなく、牧草丈の伸長に影響が出ました。六月は全般的に暖かく下旬には30℃を越す蒸し暑い日もありました。七月上旬は連日降雨で比較的冷涼でしたが、下旬は高温で30℃超えが続きました。八月も暑さは続き、まとまった降雨もあったため、デントコーンの成長を促す天候になりました。

九月は中旬まで暖かく、十月も平年気温より高く推移し、収穫作業は例年より早く終了しました。昨年は六く九月まで、

代表理事組合長 関口 哲治
代表理事専務 菅井 誠
理事 菅内 秀幸
阿部 和彦
八巻 武則
横尾 俊雄
岡和田 博
松浦 健治
高橋 敬貴
古関 則一
情野 修

暑い日が多い中で農作業、質と量を確保するための肥培管理には苦労が多かったと推察いたしますが、組合員皆様の努力と技術により、無事出来秋を迎えられた事に、敬意を表するところです。

畑作の状況につきましては、六月までは日照と雨に恵まれ概ね順調に推移しましたが、その後の猛暑、多湿、夜間の気温が下がらない状況が続ぎ、甜菜は病害と稀に見る低糖度、ブロッコリーは軟腐病と生育障害、玉葱は日焼けによる正品化率の低下と、残念ながら猛暑による収量低下は避けられませんでした。平均収取では、小麦計画8俵に対し8.8俵、玉葱計画5.8トに対し5.8ト、甜菜計画5.3トに対して5.3ト平均糖度14度、加工馬鈴薯計画3トに対して3.6ト、ブロッコリー計画836kgに対して624kg、大豆、立茎アスパラは計画以上の反収になりましたが、南瓜、青シソは計画以下になりました。道内全体が低調な作柄であったことから、玉葱は品薄となり十一月から価格が高騰しています。

酪農については、当JAの乳価は加工原料乳補給金等を含め税込み114.93円、十一月末出荷乳量が前年比92.1%となっております。一昨年から継続して生産抑制の情勢に加えて、猛暑による個体乳量の低下もあり、生乳生産に関しては厳しい環境でした。乳価については、期中に於いて飲用加工用併せて三度の値上げ改定となりましたが、高止まりの生

産資材と高騰するエネルギー価格など、コストを考慮すると上げ幅としては充分と言えない金額に終わりました。又、個体販売については、初任牛と初生が更に安値となり、大変厳しい経済情勢の年となりました。本年の生乳生産については北海道全体で1%ですが、四万トン増産する目標とする事が決定しておりますので、一筋の光が見えてくるものと期待を

するところです。粗飼料の生産状況は、牧草収量は平年並み、デントコーンは黄熟気が二週間以上早く生育し収量も平年比一〇%と、飼料価格が高止まりしている状況で収量に恵まれた年となりました。昨年春に完成いたしました哺育育成センターは、稼働初年度目標頭数の92%程の預託頭数となっており、生育状況は畜主や視察に来られた生産者から高評価を得ています、まだ預託されていない方は是非ご検討願います。

農業情勢につきましては、食料・農業・農村基本法は制定後初めて改正されることになり今年三月までに国会提出される予定になっております。世界情勢の不安や食料生産の不安定化によっていつでも安く食料が手に入る時代ではなく再生産に配慮した適正な価格形成の実現が議論されていますが、道筋はまだ見えていなく、立ち消えにならない事を祈るところです。また、六年度の加工原料乳生産者補給金等の金額が合計で33銭の上乗せで決定いたしました。農水省が算

出した生乳100kg当り生産費が9.5%増で過去最高の生産費になったとの発表に關らず、今回の引上げ金額には、落胆するところであり、引き続きJA組合長会等での要請行動をしびとく繰り返して行かなければならないと思っております。

JA北海道大会は令和三年に第三〇回目として開催されましたが、それから三年も経たずに農業情勢は急速に変化しましたが、大会で決議されました「力強い農業と豊かな魅力ある地域社会」これは終わる事の無い将来ビジョンだと考えます。「消費者のニーズに答え、安全安心な農畜産物の生産と安定供給を通じて国民に貢献すること」が農業の目的で、継続して達成していくためには、厳しい情勢下であっても組合員・役職員が一丸となって取り組まなければなりません。

結びになりますが、今年の干支は甲辰（きのね）です。甲とは物事の始まり、そして辰は発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえることができます。この二つが合わさり、今まで準備してきたことが形になるといった縁起の良い年と考えられます。

この謂れにあやかり、天候に恵まれ災害がなく本年が豊穡の年となり、農業情勢が好転することと組合員家族の皆様のご健康と家内安全、絶対無事故を心よりご祈念申しあげ、新年の挨拶といたします。

酪農専門部会

代表	城岡 克利
監事	石田 佳宏
常勤	佐藤 直行
監事	馬場 秀人
参事	高橋 淳
参事	岡村 貴幸
参事	城岡 克利
職員	同

ビート専門部会

部会長	秋葉 宏之
副部会長	緑川 将仁
〃	名取 浩二
〃	西塚 仁志
〃	吉田 義巳

ブロッコリー専門部会

部会長	平野 俊幸
副部会長	平野 寿雄
〃	牧野 俊介

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 花岡 伸光



新年明けましておめでとうございます。令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んでお喜び申し上げます。

農業者、関係機関の皆様には平素より農業改良普及事業の推進に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の気象経過を振り返りますと、3月の気温が高く推移したことから、融雪期は平年より早まりました。以降、気温は平年より低い時期はわずかで、全般的に高く推移し、4月から10月までの積算気温および積算日照時間は平年を上回りました。降水量は5月を除いて、周期的に降雨があったことと4月から10月までの積算降水量は平年を上回りました。

JAえんゆう地域の農作物の作況を振り返りますと秋まき小麦は、起生期から出穂期までの生育は順調で、平年よりやや早く推移しました。7月は気温が高く推移し成熟期は早まりました。収穫作業は平年より早く始まり早く終了しました。子実収量は平年を上回る結果となりました。

てんさいの移植、直播栽培のは種作業は順調に進み、出芽は良好でした。5月の降水量が少なく生育は停滞した

ものの、その後の好天と周期的な降雨により、根部肥大は進みました。収穫作業は順調に進み平年より早く終了しました。収量は平年より多かつたものの、糖分は平年を下回る結果となりました。

たまねぎは、移植作業は順調に進み、5月の降雨が少なく気温が高めに推移しましたが、灌水の実施により活着は良好でした。その後は高温が続いたことと、収量は平年を下回る結果となりました。

飼料用とうもろこしは、は種作業は順調に進み、は種後から7月まで気温が高く、適度な降雨があったことで生育は旺盛でした。7月以降も高温で推移したことで乳熟期、糊熟期、黄熟期ともに平年より10日以上早まりました。収穫作業は平年よりも早く終了しました。生収量、TDN収量ともに平年を上回る結果となりました。

牧草（一番草）の生育は融雪が早かったことで萌芽が早まりましたが、5月の降水量が少なく生育は緩慢となりました。その後の好天と周期的な降雨により、生育は旺盛となりました。収穫作業は出穂と同時に始まり、平年より早く終了しました。収量は一番草、

一番草ともに平年並みの収量を確保できました。

今年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの落ち着きは見られず、ロシアによるウクライナ侵攻の影響も続いており、肥料や飼料の価格高騰・品不足、光熱費の上昇、個体販売価格の低迷、さらに円安による物価の値上げも止みません。また、てんさい糖の国内産糖交付金の削減、見通しが立たない生乳生産動向など、厳しい経営環境が当面続く状況にあります。

今後、農業経営を継続して行くにあたって、土壌分析による施肥改善、堆肥・尿の有効活用、輪作体系の見直し、乳質・乳成分の向上、良質自給飼料の確保、気象変動に応じた栽培管理や家畜管理など、基本的な技術の確認と改善により、経費の節減と所得を確保していくことが重要です。

普及センターとしても農業者や関係機関の皆様と連携し、経営の安定と地域農業振興に向けた取り組みを積極的に進めて参ります。

最後になりますが、本年の豊穡の秋とご家族の皆様のご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

玉葱専門部会

部会長 山田 忍
副部会長 三品 雅敏

小麦専門部会

部会長 梶原 達矢
副部会長 三品 拓也
前島 英樹

南瓜専門部会

部会長 大河原正一
副部会長 加藤 玲史

えんゆう農協青年部

部会長 姉崎 正弥
副部会長 城岡 拓磨
石山 貴博

えんゆう農協女性部

部会長 北村 広子
副部会長 松田美由紀
花木 寿栄

令和6年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 樽井 功



新年あけましておめでとございませす。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雪被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね平年並みに推移しておりました。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農

業経営に与える影響は甚大なものとなっております。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料競争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。

これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食べ物を輸入に頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は今後ますます大きくなるものと考えております。

JAGグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源であ

る食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があります。行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。今年、第31回JAG北海道大会が開催されます。

また、第30回JAG北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJAG北海道大会に繋げていく必要があります。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めため、JAGグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、JAGグループが提唱する「国産国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになりますが、本年は辰年です。



辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新しい年を迎えて

JAえんゆう青年部

部長 姉崎 正弥



新年あけましておめでとうございます。令和6年の新春を迎え、農業関係者並びに青年部部員の皆様には心よりお喜び申し上げます。

昨年はいまだ終結の見えないロシアによるウクライナ侵攻に続き、イスラエルとパレスチナの紛争が始まり緊迫した世界情勢を受け、多くのものを輸入に頼る日本において多くの不安を感じさせられる1年でした。肥料や飼料の高止まり、エネルギーコストの増加、円安等農業経営において非常に大きな打撃を与えていることと思います。

また、オホーツク地区におきましては昨年に続き初夏の降雹豪雨被害や夏の酷暑により、多くの農業関係者の皆様が苦労されたことかと存じ上げます。

青年部活動としましては例年執り行われています上湧別小学校での食育活動を行い、調理実習では自分たちで育てた野菜で作るカレーとシチューを美味しく丁寧に頬張る多くの笑顔を見ることが出来ました。また、第41回湧別町産業まつりでは牛乳無

料配布に私の知る限り見たことがない長蛇の列ができ、新型コロナウイルスが5類に引き下げられたこと、そして乳製品の値上げによる影響だと推察するに十分なものでした。

部長の活動としましては、7月10日〜12日に実施されました道外視察研修において自由民主党の武部代議士や農林水産省職員との意見交換会や全農輸出対策部にて現在の日本農作物の輸出状況について講義いただき知見を深めることができ、貴重な体験となりました。

最後になります。昨年は急遽青年部部長になることが決まったこともあり、準備不足な面も多々あり多くの方に助けていただくことで1年どうにか部長を務めることが出来ました。本年は昨年の活動を元により多くの試みを実施していきたいと思っております。つきましては関係機関各位、並びに青年部部員各位の一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。同時に、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

JAえんゆう女性部

部長 北村 広子



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族で輝かしい新年を迎えられました事を、心よりお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に對しまして、部員の皆様、ご家族、職員の皆様、各関係機関の方々のご理解とご協力を頂き、深く御礼申し上げます。

女性部活動も、部員の意欲的な活動の取り組みと研修会への参加、視察研修などで視野を広げて、多数の部員が知恵を出し合い、笑顔で楽しい時間を共有することができました。一方で、全道的に部員の高齢化と減少が止まらず、将来的に活動の不安を強く感じております。

昨今の農業情勢は、ロシア・ウクライナの紛争に続き、他国の紛争と物価・肥料の価格高騰と先行き不透明の中、農業者にとっては厳しい1年だったと思えますが、えんゆう女性部としても、「この様な時代こそ」心をひとつに、今をつむぎ次世代につ

なごう」と目標に部員一同、健康で豊かな気持ちで活動したいと考えております。

本年も部員の皆様と御家族、職員の皆様、各関係機関のご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶と代えさせていただきます。



一日皆貯金 当選者発表



【特賞】 一万円 (三名)

加藤 美恵・平井 紀美・松浦由美子

【金賞】 五千元 (五名)

佐藤 知子・松浦 紀之・三宅 正人
伊豆田國雄・張江隆太郎

【銀賞】 三千元 (十名)

小野 年子・片平みなみ・木村 琉楓
木村 則子・高橋 和枝・中川 維都
松浦寿女子・森谷ルミ子・馬場 渚
松田 恒平

【銅賞】 一千元 (七十名)

浅井 博行・石田 玲香・石田 京子
市原 静江・伊藤 良則・池田 輝男
因 和代・上松久美子・内田 梨瑚
内田美佐代・追永知加子・岡村 悠希
大河原 淳・片岡 啓文・鹿野内七結
木村 京子・木下 敏子・齋藤 孝子
齋野 勝子・佐々木恵理奈・佐々木公子

志賀かをる・鈴木 幸恵・高柳 千鶴
辻山 陽子・中川 優芽・西野 葉月
野村 和枝・長谷川雄基・林 敏子
濱口きよ子・平野由美子・牧野 俊介
松田 瑞穂・三品 翔雅・三澤 誠司
宮越 晴美・向平 るみ・横尾 洋子
涌島 隆子・石川 鉄也・岩城 健治
遠藤 綾・大嶋 翔真・大塚 政子
小笠原政子・菊池 和江・草野まゆみ
笹原 重敏・桜井フミ子・桜井 忠則
鹿野内祐子・高栖衣智佳・高栖 敏子
高栖 旭史・中山美智代・野田 唯葉
平山紀美江・平山 唯露・布施 武
村田 美佳・村中さくら・森谷 正敏
山口 亮・吉田 圭汰・吉田 真菜
関東 静子・北村 知美・益山 藍瑠
三浦 明博

(順不同・敬称略。お名前に誤字等)
ございましたら、ご了承ください。)



当選された皆様
おめでとうございます🎉

当選された皆様、大変おめでとうございます。賞金につきましては、一月末日までに貯金口座に入金いたしますのでご確認ください。また、当選された方にはあらためて文書にてご通知申し上げます。

当JAは、今年も皆様のお役に立てる金融機関として貯金業務はもちろん相談業務充実をはかり、皆様のご利用をお待ち申し上げております。

野菜とスキムミルクを使って調理実習 女性部フレッシュシユミズ合同研修会

12月11日、JAえんゆうフレッシュシユミズは遠軽町メトロプラザで合同研修会を開催しました。

湧別町の太田栄養士を講師に招き、野菜とスキムミルクを使って調理実習をしました。

最初に健康講座として血圧について説明を受け、ました。続けてスキムミルクの効果と用途について説明を受け、カレーや味噌汁など多くの

料理に活用できることを勉強しました。

次に調理実習として、「野菜とスキムミルクを使った料理」をテーマに、副菜として南瓜の春巻きと玉葱の納豆チーズ焼き、デザートとしてスイートじゃがを作りました。参加した部員はそれぞれ協力し合い、1時間半程度で全品完成しました。



あっという間に3品完成しました



野菜とスキムミルクをふんだんに使ってます

JAへ就職希望者100%就職 (令和4年度実績)

令和6年度学生2次募集


- 募集人員 15名程度(定員60名) ●男女共学 ●1カ年、全寮制 (個室)
- 満24歳未満 (令和5年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：令和6年2月3日 (土)
- 願書受付：令和6年1月9日 (火) ~ 1月24日 (水) 消印有効
- 学校見学もできます

お問合せ

資料請求

JAグループ職員養成校



一般財団法人
北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417【JAカレッジ】で 

JA北海道厚生連

遠軽厚生病院からのお知らせ

『皆さまから最も信頼され、選ばれる病院』を目指します



コウセイくん

JA北海道厚生連
キャラクター

マンモグラフィ装置 更新いたしました

2023年11月7日から最新装置での
乳がん検診を開始いたしました。

最新装置の特徴は

- ① 圧迫による**痛み軽減機能付**
- ② 圧倒的に画質がきれい
なことです。

痛み軽減機能とは、
一度強く圧迫して、
その後に減圧して、
痛みを軽減する機能です。

また、一緒に乳腺エコー検査を受けると
発見率が上昇すると言われています。

当院の人間ドックと一緒に申込みいただくと
1日で検査ができます。

最新装置での検診をぜひお試しください。

<ご予約、お問い合わせ>

遠軽厚生病院 健康推進課予約係
Tel0158-42-4101 内線2260

※人間ドックの予約はこちら→



人間ドックオプション料金

- ・マンモグラフィ1方向
4,950円(税込)
- ・マンモグラフィ2方向
6,050円(税込)
- ・乳腺エコー検査
3,300円(税込)
※1日最大8名

お持ちの健康保険や町村の
助成に該当する場合があります。

心も体もぽっかぽか♪

たっぷり キャベツと 鶏肉の レモンミルク鍋



材料(2人分)

鶏モモ肉	300g
ウインナー	6本
キャベツ	1/4個
ニンジン	1/2本
レモン	1/2個
牛乳	300ml

水	400ml
A コンソメ(顆粒)	小さじ2
塩	小さじ1
粗びき黒こしょう	少々

作り方

1 下準備をする。鶏モモ肉は食べやすい大きさに切る。ウインナーは斜めに3カ所切り込みを入れる。キャベツはざく切り、ニンジンはいちちょう切りにする。レモンは皮ごと薄い輪切りにする。

2 鍋にAを入れて中火にかけ、沸騰したらキャベツ、ニンジン、鶏モモ肉、ウインナーを加える。ふたをして7、8分煮る。

3 牛乳を加え、ふたをせず沸騰しないように弱火で2、3分煮る。薄切りにしたレモンをのせる。

POINT お好みのハーブやトマト、粒マスタードなど(材料外)を添えると味の変化を楽しめる。



旬の食材のおいしさを
牛乳が引き立てます

ハクサイと サケのミルク鍋

材料(作りやすい量)

ハクサイ(上部)	3/4個
塩ザケ(切り身・甘口)	3切れ(240g)
ニラ	1わ
牛乳	600ml
昆布だし	200ml

ボン酢しょうゆ	80ml
卵黄	2個分
漬けたれ	
細ネギ	適宜
青のり	適宜
七味唐辛子	適宜

作り方

1 ハクサイを芯と葉の部分に分けて、芯は千切り、葉はざく切りにする。

2 塩ザケは湯にくぐらせ、氷水にサツと漬けて引き上げておく。漬けたれの材料を混ぜ合わせておく。

3 (1)と(2)の塩ザケ、5cmの長さに切ったニラを土鍋に入れて、牛乳と昆布だしを加える。火を通しながら、漬けたれに付けて食べる。



家族でおいしく楽しもう
冬のあつたがミルク鍋

牛乳は冬が旬!

寒さが続く時期に家族でおいしく楽しめる
ミルク鍋レシピをご紹介します。

出典
「ミルクWEBサイト
「ミルクレシピ」



家族全員で楽しめる!

豆腐ともやしの まるやか ミルクたんたん鍋



材料(2人分)

豚ひき肉	150g
木綿豆腐	1丁(300g)
もやし	1袋
ニラ	30g

豆板醤(とうばんじゃん)	適量
A ニンニク	1片
ショウガ	1片
長ネギ(白い部分)	1/2本

ごま油	小さじ2
甜麵醬(てんめんじゃん)	小さじ2
しょうゆ	小さじ2
水	100ml
牛乳	300ml
鶏がらスープの素(顆粒)	大きじ1/2
みそ	10g
塩	小さじ1/8
すりごま(白)	大きじ1

作り方

- 1 下準備をする。木綿豆腐は食べやすい大きさに切る。もやしは洗ってひげ根を取る。ニラは4cmの長さに切る。Aのニンニク、ショウガ、長ネギはみじん切りにする。
- 2 肉みそを作る。フライパンにごま油を弱火で熱し、Aを入れて香りが立つまで炒める。端に寄せて中火にし、豚ひき肉を入れる。肉の色が変わったら、炒めたAと合わせて甜麵醬、しょうゆを加え、全体がなじむまで炒める。
- 3 深さのある鍋か土鍋に、水、鶏ガラスープのもと(顆粒)を入れて沸騰させ、もやしを入れてふたをし、1分30秒ほど蒸す。
- 4 ふたを取り、牛乳、塩、すりごま(白)を加え、みそを少しずつ溶かしながら入れる。木綿豆腐、ニラを彩り良く並べて中火にかけ、豆腐が温まり牛乳が沸騰する直前を目安に火を止める。
- 5 鍋の空いている所に(2)の肉みそをのせる。

おもてなしにも♪

とろ〜りチーズの 洋風ミルク鍋

作り方

- 1 下準備をする。カマンベールチーズは表面に放射状に軽く切り込みを入れる。ハクサイは葉と芯に分け、それぞれざく切り、ニンジンには皮ごとピーラーなどで薄くむき、くるくると巻く。エノキタケは根元を切り落とし、手でほぐす。長ネギは5cmの長さに切る。トウモロコシは根元を切る。ニンニクは表面に竹串で穴を開ける。エビは殻をむき、背ワタを取り除く。ゆでだこはぶつ切りにする。
- 2 鍋にAを中火で沸かし、エビ、ゆでだこを入れてさっと火を通す。取り出して粗熱が取れたらそれぞれ串に刺す。
- 3 豚ロース薄切り肉1枚を広げ、ハクサイの葉を適量巻く。豚肉とハクサイの葉がなくなるまで作る。ファルファツレを袋の表示時間通りにゆでる。
- 4 (2)とは別の鍋の底にハクサイの芯を並べ、中央にカマンベールチーズを置く。周りに(3)のハクサイの豚巻き、巻いたニンジン、長ネギ(白い部分)を立ててバランス良く詰め、空いた隙間にエノキタケ、トウモロコシ、ニンニクを詰める。
- 5 (4)にBを加え、中火で加熱する。全ての具材に火が通ったらファルファツレをのせ、エビとゆでだこの串は食べる直前に溶けたチーズに絡ませていただく。



材料(2人分)

カマンベールチーズ	1個
豚ロース薄切り肉	150g
エビ(殻付き)	6尾
ゆでだこ	100g
ハクサイ	1/8個
ニンジン	縦1/2本
エノキタケ	1/2袋(100g)
長ネギ(白い部分)	1/2本
ニンニク	3片
トウモロコシ	少々
ファルファツレ(リボン形の pasta)	50g

水	500ml
A 酒	大きじ1
うま味調味料	少々

牛乳	500ml
水	200ml
B 白ワイン	50ml
コンソメ(顆粒)	大きじ2

賀正

昨年中はご愛顧を賜り

厚く御礼申し上げます。

本年も旧に倍しての御愛顧の程

宜しくお願い申し上げます。

社員一同、皆様の御用命を

心よりお待ちしております。

令和六年 元旦

(株)ジェーエーえんゆう

燃料事業部

農機・整備事業部



令和6年度 営農計画作成支援日程

本所 (会場：本所 大会議室) ・遠軽地区 (会場：遠軽支所 大会議室)

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時～午後4時
1月18日	木	開盛・札富美・旭	
1月19日	金	富美・上富美	
1月22日	月	北兵村二区・三区	北兵村一区
1月23日	火	屯田市街地	南兵村二区
1月24日	水	南兵村一区	南兵村三区
1月25日	木	社名刈地区・学田地区・遠軽・清川地区	
1月26日	金	瀬戸瀬地区・丸瀬布地区	

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。
但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。
尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●白滝・生田原地区につきましては、1月9日以降、個別にご連絡させていただきます。